平成 23 年度　事務事業事後評価調書（平成　22　年度事業）

整理番号	9 ― 16

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	基幹水利施設管理事業					
評価者	担当課名		産業振興課	担当係名		農務係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	主事
		氏名	石井弘道		氏名	川口　敦史
事業の概要	国営雄武中央地区土地改良事業にて造成された雄武ダムについて、施設の維持管理を適正に実施し、かんがい用水の合理的な利用を促す。					

全体計画 /単年度繰返 (平成 21 年度～ 24 年度)		
事業費	国・道支出金	50,431 千円
	地方債	千円
	その他	千円
	一般財源	35,945 千円
	事業費計	86,376 千円

実施方法	■ 直営	民間委託	その他（　　）

第 5 期 総合計画（前期）	■ 登載事業	非登載事業	優先度	A

事業の位置付け			
政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	
基本施策	1	農業の振興	
単位施策	1	土地基盤の充実	
事務事業の種類	■	自治事務	法定受託事務
その他計画・根拠等			

事業費 実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(計画)
国・道支出金	千円	11,201 千円	12,170 千円	12,137 千円	12,437 千円
地方債	千円	千円	8,800 千円	9,000 千円	千円
その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
雄武町負担額（一般財源）	千円	8,105 千円	291 千円	36 千円	9,318 千円
合計	千円	19,306 千円	21,261 千円	21,173 千円	21,755 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	用水受益者、ダム施設
【抱える課題やニーズは】	各種設備の機器更新費
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	適切な維持管理を行うことにより、受益者への用水供給を適正に行い、かつ各種機器の長寿命化を図る。
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	かんがい用水の合理的な利用を促し、農業生産性の向上と農業経営の安定を図る。

望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）

・各種設備5箇所　・維持管理、調査6件

指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
① ・各種設備5件：点検委託業務実施 ・維持管理、調査6件：委託業務実施	目標年度	22
	目標値	11 件
	実績値	11 件
	達成度	100.0 %
② ・施設不具合件数：0	目標年度	22
	目標値	0 件
	実績値	0 件
	達成度	100 %

内容（どのような手段で何を行ったか）	
点検整備	取水放流設備、電気設備、制御設備、観測設備、無線設備、繋船設備等の点検委託業務
施設管理	休日保安、洪水時対応等業務（管理補助員）
施設維持管理、調査	管理用道路等の草刈・除雪業務、貯水池内流木処理業務、貯水池内堆砂量測定業務、堤体表面変位測量業務等

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	受益者への用水供給を適正に行うために必要である。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	各種設備の点検や施設の管理を行い、用水供給のための正常機能を維持している。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ■事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 □その他	実施した事務事業については鋭意コスト削減を行っている。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	受益者（使用者）が一律の料金を負担する。 （平成２２年４月１日から用水使用可能）

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
用水供給のための正常機能を維持している。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
今後も施設の正常機能を維持すべく、継続することが適当である。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）